

## 「天知る、地知る」

平成十八年八月十三日(日)午前九時 於大本山増上寺大殿

天然寺住職 後藤 尚孝

一、五台山巡拝の旅に思う

二、阿弥陀仏の誓い

① お念仏は極楽浄土のための勝れた行

② 第十八念仏往生の願(王本願)について

—御釈迦さまと阿弥陀さま—

③ 念仏往生の誓願は平等に人々を救済する。

④ お念仏の行は法蔵菩薩の本願の行

⑤ 凡夫の浄土往生には口唱の念仏に及ぶものはない。

⑥ 善導大師のすすめ

三、天知る、地知る、子知る、我知る

〔本願とは〕

菩薩が衆生救済の目的で発す誓願。仏となることにより成就される。覚りを開いて成仏する以前に発した「もとの願い」であることから本願、本地誓願、本弘誓願(ほんぐせいがん)という。わが国で本願といえば『無量寿経』に説く阿弥陀仏四十八願を指すのが一般的である。

〔参考資料〕

『法然上人のご法語 第一集 消息編』

浄土宗総合研究所編訳より